



航空レーザを活用した森林由来クレジットの創出について



概要

○国のJ-クレジット制度に基づき、新たに道有林の一部において航空レーザ測量を活用した森林由来クレジットの創出を試行的かつ先導的に実施し、そのノウハウを道内市町村等へ普及することにより、2050年までに温室効果ガスの実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組を推進する。

事業内容

- (1) 事業期間 令和5年度(2023年)～令和12年度(2030年)までの8年間
- (2) 事業規模 上川北部及び網走西部管理区域の約15万haのうち、1990年以降に森林整備を行っている人工林約2万6千haを 対象とし、クレジット創出量は約58万t-CO₂ (見込み)。

(3) 事業スキーム

- ① 道は、連携して事業を実施する企業等を公募し、クレジットの創出に要する経費や販売促進の方法などについて、最良の企画提案をした者と協定を締結。
- ② 協定に基づき、道は森林整備及び管理、企業等は航空レーザ測量や事務手続き等を行い、クレジットを創出。
- ③ 創出したクレジットは、道及び企業等の双方で負担した経費の割合を基本に分配。
- ④ 企業等は、道と連携してクレジットの販売促進に努める。

